

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

令和元年6月26日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m ³)		
43	島根	スギ・ヒノキ	3,160	2	
44	岡山	スギ・ヒノキ	800	1	
45	山口	スギ	620	1	
46	島根	原料材N	1,690	3	
47	岡山	原料材N	800	1	
48	山口	原料材N・原料材L	430	1	

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する10項目の取組内容(取組評価点)及び山元購入希望単価(価格点)等について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m ³) 原料材N・L(円/t)
43	島根県益田市高津7丁目7番16号 株式会社 益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	・丸太不足に悩む製材所等に対して、大量に供給することで国産材製品の需要バランスを整えることができる。また、大型トラックを使用することで大量に運ぶことができコストの削減につながる。 ・製材所等にとって、あらかじめ供給される丸太の材積を把握することができるので製品を製造しやすくなり、歩留まりを上げることでコストの削減につながる。	平均単価 スギ 6,518円 ヒノキ 7,425円

44	岡山県真庭市富尾1番地 真庭木材市売株式会社 代表取締役 山下 薫	<ul style="list-style-type: none"> ・市場への出材を安定供給するため素材業者との関係を密にすることはもちろんのこと自社での山林購入も拡大していく。CW法やCOC認証も取得しており今後、合法材、認証材をより多く供給し、また並材の販売方法についてはスパンを決めて量と価格を安定的に供給していきたい。製材所への便宜を図るためリングパーカーの導入を考えている。 ・製材所と情報交換を密にし、今需要の高い造材方法や適切な量の確保等付加価値を高めたりコスト削減を図りながら供給していきたい。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,625円</p> <p>ヒノキ 8,911円</p>
45	島根県益田市高津7丁目7番16号 株式会社 益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	<ul style="list-style-type: none"> ・丸太不足に悩む製材所等に対して、大量に供給することで国産材製品の需要バランスを整えることができる。また、大型トラックを使用することで大量に運ぶことができコストの削減につながる。 ・製材所等にとって、あらかじめ供給される丸太の材積を把握することができるので製品を製造しやすくなり、歩留まりを上げることでコストの削減につながる。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 6,135円</p>
46	島根県松江市西津田一丁目2番14号 山陰丸和林业株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の利用と保全に力を注ぎ、事業を幅広く展開していくための人材育成及び林業従事者の技術継承。工場の更新及び加工機械(チップパー等)、重機等の入替え。 ・システム販売材と民有林材を多く購入することで保管期間を長く乾燥させる。また、輸送過程で水分を含ませないようシートで覆い、水分の低減に努め、製品の付加価値の向上を更に目指し多少でも買取価格の上昇に繋がるよう努力する。 ・京都府、福井・兵庫・鳥取・岡山・島根県に加工工場及び集積土場があることを活かし、現場からの最短集積地に集荷することで流通コストを削減する。製品においても、広範囲に製品販売を行っていることと、自社車両を多く所有していることで流通工程の無駄を省く。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,000円</p> <p>原料材L 4,200円</p>
47	島根県松江市西津田一丁目2番14号 山陰丸和林业株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の利用と保全に力を注ぎ、事業を幅広く展開していくための人材育成及び林業従事者の技術継承。工場の更新及び加工機械(チップパー等)、重機等の入替え。 ・システム販売材と民有林材を多く購入することで保管期間を長く乾燥させる。また、輸送過程で水分を含ませないようシートで覆い、水分の低減に努め、製品の付加価値の向上を更に目指し多少でも買取価格の上昇に繋がるよう努力する。 ・京都府、福井・兵庫・鳥取・岡山・島根県に加工工場及び集積土場があることを活かし、現場からの最短集積地に集荷することで流通コストを削減する。製品においても、広範囲に製品販売を行っていることと、自社車両を多く所有していることで流通工程の無駄を省く。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,700円</p> <p>原料材L 4,700円</p>
48	島根県益田市高津7丁目7番16号 株式会社 益田原木市場 代表取締役 阿知波 義雄	<ul style="list-style-type: none"> ・大型トラックを使用しコスト削減に努める。 ・計画的に生産することにより、無駄を省き発電所に対して安定的に納材できる。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 4,200円</p> <p>原料材L 4,400円</p>